

2013年(平成25年)8月28日(水曜日)

ユニシス

北広島に麻酔針工場

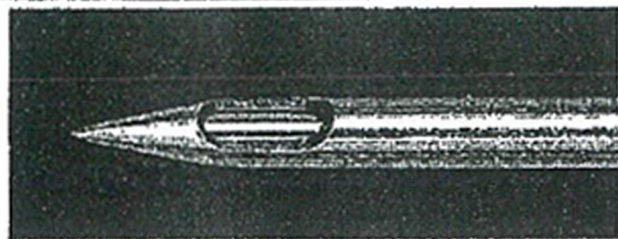
4.5億円投資「地域の人材採用」

麻酔針を中心とした特殊注射針を製造するユニシス(東京・台東)が来春、北広島市に部品の生産工場を建設することがわかった。投資額は4・5億円で、麻酔用注射針の先端部分などを製造する。同社の製造拠点は埼玉工場(埼玉県越谷市)に次ぐ2カ所目。道内企業から部品を調達し、採用も道内で行う。雇用を含め、周辺への経済波及効果が期待できそうだ。

同社は下半身の手術などに使うペンシル型麻酔針の分野で世界シェア約30%を占める。現在は埼玉工場で年間数百万本を生産。9割を欧米などを中心に輸出しているという。1978年9月の設立で、13年7月期の売上高は17億円。

新工場の敷地面積は約1700平方メートルで、建物の延べ床面積は約1千平方メートル。今年9月に北広島市輪厚工業団地の土地を購入する予定。来年5月に着工、同9月に完成させる考え。2015年4月から本格稼働させる。当初は10人程度でスタートして人数を増やし、稼働後数年は25〜30人体制を計画している。

新工場ではペンシル型麻酔針の部品製造を手掛ける。複数の道内企業から金型などを調達し、年



ペンシル型麻酔針の針先部分(写真上)。埼玉工場では生産する麻酔針の部品の一部を北海道に移管する